



8月定例会報告

8月5日(水)午後6時より「地産地消について考える」というテーマのもと、下溝にある「モナの丘」にて農業体験&勉強会を開催いたしました。夏野菜を収穫するものと思いましたが、それぞれ軍手をはめ気合がはいつていましたが、実際は石井智子さん(ハーブの専門家)にモナの丘で栽培されているハーブの説明をしていただきました。色々なハーブを手に取り、香りを嗅ぎ味わいながら説明していただき大変興味を惹かれました。全てのハーブを口にしていた「誰かさん」もいきましたが大丈夫でしたか?

勉強会として会員の白井一郎氏とモナの丘社長の桑田俊夫氏に講演いただきました。相模原市の農業の現状や地域消費への取り組み、職業として考える農業の大変さ、安全な食物をとる大切さ、ハーブの効用や食による予防の大切さ等々を教えてくださいました。

その後の懇親会では、モナの丘で収穫したハーブを使ったサラダや夏野菜のカレー&パスタ等をいただき、ビールやワインもはいり大変盛り上がりしました。今回のテーマについての企画に際して、津久井の大豆を使った豆腐作り、相模原高校や先月お邪魔した藤野など、相模原市内で地産地消に取り組んでいる多くの方々を知る良い機会となりました。改めて相模原の地産地消を考え勉強し、子供達に伝えていければと思います。(小野 弘)



ハーブその甘さにびっくり!?

夕日の映えるモナの丘での研修会、ハーブ栽培園で石井女史より栽培方法や効力について講義を受け、貴重なハーブを試食しての体験学習、糖分が砂糖の30倍のハーブその甘さにびっくり。屋外研修後、地産地消の当市の現状を知り、国内の農業への取り組みに唖然とする。衣食住位は生命の基本しっかりしなければ未来が無いと自覚する。グリーンピア相模原の桑田社長から現役引退後循環型農業への情熱と夢を伺う。

同年代として羨ましく思う。(櫻内)



(都産研ニュース編集室より)

ハーブ園で教えていただいたスティンギング・ネトル(イラクサ)というハーブは生で触ることは出来ませんが、ハーブティとして飲むと、アレルギーを改善する効果があると石井さんから教わり飲んでいました。「相模原っていいべ」と改めて痛感しました。また、桑田さんとは卵話でもりあがりました。いつか「相模原の卵を考える」をやってみたいですね(笑)。(中嶋)



9月定例会のご案内

日時:9月9日(水)19:00~ 場所:相模原商工会議所 講師:相模原市 都市交通計画課

テーマ:リニア中央新幹線が地域に与えるインパクト ~日本の国土軸が変わります~

JR東海のリニア中央新幹線計画が、2025年に首都圏~中京圏での開業を目指し、具体化に向け動き出しました。2013年度までに延伸する山梨実験線は、相模原市の隣接地域にまでおよび、私たち市民にとってより身近に感じるものとなります。

東京~名古屋~大阪の所要時間が現在よりも半分以上縮まることにより、リニア都市圏の出現が予想されます。リニア都市圏の出現がもたらす社会変化(わが国全体へ与える影響、神奈川県に与える影響、相模原市に与える影響等)について、想像めぐらし、議論したいと思えます。ご興味のある方は、是非この機会にご参加ください。
[担当:白井(憲)、平栗、八木(千)]

○ご参加希望の方は、TEL:042-753-8131 FAX: 042-753-7637 事務局 担当:林までご連絡ください。